

令和3年度使用中学校教科用図書  
調査研究結果報告書

社会(地理・地図)



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会



教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会(地理的分野)	2	東書	新しい社会 地理

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適合している。
	2 内容に関する配慮事項	○各単元の学習を単元全体を貫く「探究課題」、探究課題の解決を補助する「探究のステップ」、1単位時間の学習のめあて「学習課題」の3段階の問いで構造化している。 ○本文での学習内容を補充する「もっと地理」を設け、学習内容を深めたり広げたり、異なる視点で捉えたりしながら学習できるようにしている。 ○「持続可能な開発目標(SDGs)」などの現代的な諸課題についての特設ページやコラムを設けており、諸課題への理解を促す工夫をしている。
	3 分量	○全体の分量は適切であり、各単元の分量もバランスよく配分されている。
	4 使用上の便宜	○他教科でも扱う学習内容に教科関連マークを付しており、カリキュラム・マネジメントに役立つようにしている。 ○Dマークや二次元コードが付けられており、アクセスすることで、関連する紙面や動画コンテンツなどを視聴することができる。
	5 印刷・製本等	○特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」が採用されている。 ○文字や写真の印刷は鮮明であり、製本は針金綴じにより堅牢である。
教科ごとの選定の観点	<p>(共通)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地理的な見方・考え方を活用して取り組む場面に「見方・考え方」のコーナーを設けたり、マークを付したりしている。</li> <li>2 「スキル・アップ」のコーナーを「集める」「読み取る」「まとめる」の三つの側面で設け、必要な技能の定着を図っている。</li> <li>3 小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を設け、話し合いなどの対話的活動を通して、多様な意見に触れながら学習が深められる工夫をしている。</li> <li>4 重要文化財、世界自然遺産・文化遺産、無形文化財遺産にはマークを付し、我が国や世界の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしている。</li> <li>5 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を振り返るページが設けられ、小・中の接続が円滑にできるように工夫している。</li> </ol> <p>(地理的分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 (1) 単元ごとに「スキル・アップ」のコーナーを設け、学習に必要な地理的技能を習得できるようにしている。 (2) 第3編第4章「地域の在り方」では、地理学習のまとめとして、身近な地域の将来像について話し合ったり発表し合ったりする対話的な場面が設けられている。 (3) 第2編第1章「世界各地の人々の生活と環境」では、異なる自然環境で暮らす人やイスラム教を信仰する人のインタビューを取り上げるなど、多様な生活や文化への理解を促し、尊重する態度を養えるようにしている。</li> <li>2 日本の諸地域学習では、中核となる考察の仕方をすべて網羅している。</li> </ol>	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会(地理的分野)	17	教出	中学社会 地理 地域にまなぶ

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<p>○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。</p> <p>○内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適合している。</p>
	2 内容に関する配慮事項	<p>○世界・日本の諸地域の学習では、写真資料で構成された見開きページで、学習前に節全体を概観できるようにしている。</p> <p>○世界・日本の諸地域の学習について、教科書総ページの半分以上を充て、重点化して取り扱っている。</p> <p>○冒頭ページの「地理の学習を始めるにあたって」では、小学校の社会科の振り返りと、中学校の社会科の見通しを示すことで、小学校の社会科との接続・関連が図れるように配慮している。</p>
	3 分量	○全体の分量は適切であり、各単元の分量もバランスよく配分されている。
	4 使用上の便宜	<p>○地図やグラフなどの諸資料に「Q」マークを付した問いが設定されており、課題意識をもって資料を読み取ることができるように配慮されている。</p> <p>○ウェブサイトとリンクさせ、学習に役立つ情報を得ることができるように「まなびリンク」を設けている。</p>
	5 印刷・製本等	<p>○配色、レイアウト、表現方法、フォントなどにユニバーサルデザインへの配慮がなされている。</p> <p>○再生紙、植物油インキを使用し、環境への負荷軽減に配慮している。</p>
教科ごとの選定の観点	<p>(共通)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「地理にアプローチ」のコーナーを設け、地理的な見方・考え方を確認し、地理の学習に不可欠な地図やグラフの使い方を学べるようにしている。</li> <li>本文中に「地理の技」のコーナーを設け、統計資料の使い方など基本的な地理的スキルを身につけられるように配慮されている。</li> <li>学習課題と対応させた「表現」のコーナーを設け、地理的事象や課題などに関わる説明や話し合いなどの表現活動ができるように工夫している。</li> <li>第3編第3章「日本の諸地域」の「現代に生きる地域文化」などを通じて、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしている。</li> <li>冒頭の「地理にアプローチ」のコーナーにおいて、方位や縮尺、地図の使い方などの小学校社会科で学んだ基礎的知識を確認できるように配慮している。</li> </ol> <p>(地理的分野)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 冒頭に「地理的な見方・考え方」のページを設け、地理的分野の学習を進めていく上での基本的な視点を確認できるようにしている。</li> <li>(2) 本文の流れに即して「読み解こう」のコーナーを設け、具体的に資料を読み取りながら考察する学習活動に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(3) 第2編第2章「世界の諸地域」では、温暖化や酸性雨などの地球的課題を多角的に取り上げ、諸課題の解決や持続可能な社会づくりには自らの行動が不可欠であることについて理解が深まるようにしている。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>日本の諸地域学習では、中核となる考察の仕方をすべて網羅している。</li> </ol>	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会(地理的分野)	46	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の発達段階に適合している。
	2 内容に関する配慮事項	○巻頭に「この教科書の学習のしかた」を設け、学習の見通し・振り返り活動の基本的流れを示しており、自主的・自発的な学習がしやすくなるよう配慮している。 ○章・節・各本文ページそれぞれの冒頭に、単元を貫く問いを設けており、生徒自身が日々の学習内容に見通しをもつことができるようにしている。 ○教科書巻頭7では、キャラクターの吹き出しにより「地理的な見方・考え方」とは何かが端的にわかるよう工夫されている。
	3 分量	○全体の分量は年間の総時数からみて適切であり、各単元の分量もバランスよく配分されている。
	4 使用上の便宜	○二次元コードが随所に設けられており、資料の一部や学習内容に関連する動画等をタブレットパソコン等で閲覧できるようになっている。 ○世界と日本の諸地域の学習では、紙面全体にわたり写真から地域を概観する「写真で眺める〇〇州(地方)」を設けている。
	5 印刷・製本等	○UDフォントの使用や、識別しやすい配色など特別支援教育の視点に基づいた配慮がなされている。 ○製本は堅牢であり、長期間の使用に耐えうるものである。
教科ごとの選定の観点	<p>(共通)</p> <p>1 章・節の末尾の「学習を振り返ろう」では、社会的な見方・考え方を働かせた問いの答えに対する論理的な説明や、地域の特色に対する多面的・多角的な考察に取り組めるようにしている。</p> <p>2 「技能をみがく」コーナーを随所に設けており、地理学習の基礎的な技能を広く学べるように配慮している。</p> <p>3 導入資料に、実社会の人々の具体的な話を紹介するコラム「声」を随所に設けており、生徒同士の意見交換のきっかけとなるように配慮している。</p> <p>4 地誌を扱う、第2部第2章「世界の諸地域」第3部第3章「日本の諸地域」の内容を充実させており、国土理解・異文化理解を促進する配慮をしている。</p> <p>5 「持続可能な開発目標(SDGs)」に関わる題材など現代社会の諸課題について積極的に扱っており、公民的分野の学習につなげることができる構成になっている。</p> <p>(地理的分野)</p> <p>1 (1) 第3部第2章「日本の地域的特色」では、ハザードマップの読み取り方など、防災に関わる地理的技能を習得できる内容を手厚く設けている。 (2) 第4部第1章「地域の在り方」では、生徒自身が住む地域における社会的な課題の分析と、その解決に向けた構想に取り組む活動を設けている。 (3) 「世界の諸地域」の学習では、各州(節)の学習の流れを統一し、バランスよく知識を身につけさせることで、偏りのない異文化理解ができるよう配慮している。</p> <p>2 日本の諸地域学習では、「序説」で5つの中核となる考察の視点に触れ、各地域で一つずつ視点を組み合わせており、少なくとも一度は取り扱うことができるようになっている。</p>	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会(地理的分野)	116	日文	中学社会 地理的分野

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の発達段階に適合している。
	2 内容に関する配慮事項	○世界と日本の諸地域の学習では、導入のページにおいて、地域的特色を視覚的にとらえさせるため、写真を大きく掲載したり、クイズを設定したりするなどの工夫をしている。 ○1時間の授業を見開き2ページとし、「学習課題」と、課題解決の手がかりになる「見方・考え方」の例が示されている。また、見方・考え方を働かせながら考える問いとして「深めよう」を示している。 ○「自由研究」や「地理+α」などの特設ページ・コラムを設け、地域・社会の地理的な話題について興味・関心を高められるよう配慮している。
	3 分量	○全体の分量は年間の総時数からみて適切であり、各単元の分量もバランスよく配分されている。
	4 使用上の便宜	○デジタルマークを付けた箇所では、ICTを活用して学習を深めることができるようにしている。 ○学習内容を深めるための作業学習として「トライ」コーナーが設けられている。
	5 印刷・製本等	○ユニバーサルデザインに配慮したフォント・配色を使用しており、ルビも判読しやすいゴシック体を使用している。 ○製本は堅牢なあじろ綴じを使用し、開きやすくしている。
教科ごとの選定の観点	<p>(共通)</p> <p>1 表見返しの「地理との出会い」において、地理的な見方・考え方についてイラストと問いを用いてわかりやすく示している。</p> <p>2 「スキルUP」のコーナーを随所に設け、地理的な技能を6つの系統に分けて習得できるようにしている。</p> <p>3 具体的な課題を自ら調べたり、学級で議論したりする活動を通して、学習内容の理解を深める「チャレンジ地理」のページを設けている。</p> <p>4 我が国における伝統・文化の現状と、それを守り、未来に継承していく人々の思いや取り組みについて、随所に写真、地理+α(コラム)などを設定している。</p> <p>5 生徒の発達段階を考慮した内容になっており、小学校社会科の振り返りや歴史・公民的分野とのつながりを示す「連携」コーナーが設けられている。</p> <p>(地理的分野)</p> <p>1 (1) 資料活用のコーナーを随所に設けており、資料を用いた活動を通して、必要な情報の読み取りなどの地理的スキルを高める工夫がなされている。 (2) 「アクティビティ」のコーナーが10ヶ所設けられており、思考ツールを用いた主体的・対話的な活動ができる工夫がなされている。 (3) 世界各地の人々の生活について、最新の生活の様子とその変容を取り上げるとともに、人々の生活を紹介する「声」コーナーを設け、多文化共生社会の重要性を認識できるように工夫している。</p> <p>2 日本の諸地域の学習の冒頭において、5つの中核となる考察の視点に触れ、各地域に一つずつ視点を組み合わせており、少なくとも一度は取り扱うことができるようになっていく。</p>	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
地図	2	東書	新しい社会 地図

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適合している。
	2 内容に関する配慮事項	○環境問題や資源・エネルギー問題、人口問題、貧困問題、地域紛争や難民問題について扱う特集ページを設け、SDGs の理解を基に、現代社会の諸課題の理解を促すようにしている。 ○世界の一般図は、ユーラシア大陸から始まり、東から西の順に配列し、陸地だけでなく、随所に海洋にも着目した地図を掲載することで、地球全体の姿を的確にとらえられるようにしている。
	3 分量	○社会科の課題解決的な学習を深められるように、地図をはじめ、グラフ・写真などの資料をバランスよく掲載し、世界のアジア、ヨーロッパ、北アメリカなどについては、より多くの資料を取り上げている。
	4 使用上の便宜	○関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させて見ることを促し学習に広がりをもたせられるように工夫している。 ○テーマごとに資料を参照できる「資料さくいん」を設け、学習内容に応じて、必要な資料を簡単に探すことができるように工夫している。
	5 印刷・製本等	○環境に配慮した植物油インキを使用している。 ○製本は糸かがりで使いやすく、長期間の使用にも十分耐えられるようにしている。 ○ユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用している。
教科ごとの選定の観点	<ol style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りのポイントや見方・考え方（考察の視点）を示したキャラクターの吹き出しを設けることで、資料の理解を促し、考察を深められる工夫がされている。</li> <li>基本資料として、世界の各州や日本の各地方の大観に役立つ、気候、世界各地の人々の生活や文化、産業についての主題図のページを設け、基礎的基本的な知識を確実に習得できるように工夫されている。</li> <li>日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の結びつきなど、探究課題に沿った学習に活用できる資料を取り上げ、課題解決的な学習への主体的な取り組みをサポートし、理解を深められるように工夫している。</li> <li>世界各州の一般図には、各国の国旗が掲載され、国旗の意義を理解し、尊重する態度を育成できるように工夫されている。</li> <li>資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示されている。</li> </ol>	

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
地図	46	帝国	中学校社会科地図

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○内容は学習指導要領の社会科の目標及び地理的分野の目標に適合している。 ○内容の程度は各学年の生徒の発達段階に適合している。
	2 内容に関する配慮事項	○世界は州ごと、日本は地方ごとに地図・資料が構成されている。資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に題材が選定されている。 ○視覚的に捉えやすい鳥瞰表現を多用し、内容が焦点化されている。
	3 分量	○世界の諸地域学習における「主題」および「地球的課題」、日本の諸地域学習における地方ごとの「考察の仕方(地方ごとの中核となる事象)」について、授業の実態に応じた学習に対応できるように、また地域の特色が偏らずに理解できるように、多角的に地図・資料が選定されている。
	4 使用上の便宜	○地図帳の構成や方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「地図帳の使い方」ページに解説されている。 ○世界・日本のページの右端に、州名や地方名を記したインデックスが設けられ、生徒が探しやすいように配慮されている。また、タイトルを原則左上に固定して配置し、確認しやすいように配慮されている。 ○AB版からA4版に大判化している。
	5 印刷・製本等	○製本はページの落丁を防ぐために、糸かがりの方法が用いられ、背に「寒冷紗」を巻いて強化し、3年間の使用に耐える丈夫な製本仕様である。 ○クサ色(黄緑色)の特殊インキも加えた多色刷り(5色)で印刷している。また、地球環境に配慮して、再生紙と植物油インキを使用している。
教科ごとの選定の観点		<p>1 地図帳で培うべき地理的な見方・考え方を育成する問いを配した作業コーナー「地図活用(全94か所)」を資料図・一般図の随所に設け、生徒が主体的に地図を読み取る力を身につけられるように配慮している。</p> <p>2 世界の諸地域の多様性や地域的特色を、自然、産業、生活・文化に関する資料や統計などを用いて州ごとに大観できる内容になっている。</p> <p>3 日本の諸地域の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業の地域間の結びつきの地域的特色を、鳥瞰図や統計、資料などを用いて地方ごとに大観したり、比較を通して変化や因果関係を考察したりできる内容になっている。</p> <p>4 多文化共生の視点からすべての国の国旗を掲載し、国旗への関心が高められるようにしている。</p> <p>5 資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示されている。</p>